

2021年度 豊橋技術科学大学同窓会 第1回役員会 議事録案

日時：2021年5月26日（水）18:00～（オンライン会議）

議事録：川島

役員出席者（順不同，敬称略）：

若林会長，高嶋顧問（グローバルネットワーク推進センター），戸高（1系），安部（1系），秋月（1系） 若原（2系），稲田（2系），河野（2系），宮路（2系），川島（2系），チェ（2系），栗田（4系），松本（5系），松尾（5系），Tan（総合教育院），中尾（学外）

大学側出席者

角田理事，黒田課長（国際課），大石係長（国際課）

【配布資料】

資料番号R02-TY01-01 豊橋技術科学大学同窓会 2021年度役員一覧

資料番号R02-TY01-02 2020年度同窓会寄付金（新型コロナ対策）使途報告

資料番号R02-TY01-03 HP ML・名簿システム 2020年度活動報告および2021年度活動計画

資料番号R02-TY01-04 援助活動 2019年度活動報告および2020年度活動計画

資料番号R02-TY01-05 豊橋技術科学大学同窓会 2020年度事業報告

資料番号R02-TY01-06 豊橋技術科学大学同窓会 2021年度事業計画案

資料番号R02-TY01-07 豊橋技術科学大学同窓会 2020年度決算報告

資料番号R02-TY01-08 豊橋技術科学大学同窓会 2021年度予算案

【議題】

1. 本年度役員の確認および役割分担について

稲田副会長より名簿の説明があった

5系の岡部委員を割愛。

2系の崔先生を委員に追加。海外同窓会韓国支部の窓口を担当いただく。

高嶋顧問，蒲原委員の所属変更 →グローバルネットワーク推進センター

2. 同窓会寄付金の使途について

角田理事より，同窓会寄付金（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援金支給プログラム）に関する挨拶があった。寄付金の使途に関する概略と共に，同窓会の援助に対する謝意が述べられた。

本間課長，黒田課長から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援金支給プログラム援助金の使途に関して資料に基づいて説明があった。以下が議論された。

学生課：全8回の募集。申請66件，内48件を採択。残額210.2万円

国際課：2020年度執行分は，学部と大学院を合わせて22名。検疫措置で発生する宿泊費を援助。対象は私費留学生。計110万円を執行。海外留学する学生に対しても，渡航先の検疫などの費用を援助。2020年度は執行なし

2021年は18名に同様の検疫措置で発生する宿泊費を援助。計180万円を執行。海外留学の学生に関しては，80万円を予定（渡航調整中） 10月入学の学生に対して残額を使用し引き続き援助を行う予定

新年度に入って学生課に学生から困窮に関する相談はない。現在は，奨学金や授業料免除の申請が中心 宿舍の支払いも始まっているため，今後は増える可能性もある。

3 2020年度活動報告および2021年度活動計画

○HP ML・名簿システム

秋月委員より，HP，メーリングリスト，名簿システムに関する説明があった。以下が議論された。

・メールエイリアスの更新：岡部委員のアドレスを割愛に伴って削除。崔先生のアドレスを追加

Web名簿を大学卒業生連携室と折半で運用。2019年度（2020年3月卒業・修了）分から名簿情報の登録作業は，大学卒業生連携室が行っている。系ごとに卒業生の情報を同窓会役員が集める必要はなくなった。

○援助活動（4系）

栗田委員から援助活動に関する報告があった。以下が議論された。

- ・総会時に開催したオンライン同窓会2回分を資料に追記
- ・同窓生の懇親会の支援は100万円の予算に対して、2020年度は申請がなし。

同窓生の懇親会活性化（オンライン飲み会）の普及に関して、以下の議論があった。

- ・飲み物とおつまみをパッケージとして、それを送るための予算を懇親会として計上する
- 同窓会側から地物（豊橋の地酒など）を送付して、オンライン飲み会を開催してもらう

業者と契約してやることも考える必要がある。同窓会としては、送付したものがオンライン飲み会で参加者に行き渡っているかを、スクリーンショットをエビデンスとして提出してもらうなどは必要。

総会で意見を伺う。予算は計上をしておき、オンラインでの懇談会を促進するための上記の考えを提案すると共に意見を募る

- ・オンラインで開催する場合に、例えばZoomのIDの取得費などの支出もできるようにするのも一つの案。

Webシステムとメールリストを通じて同窓生にアナウンスする。Facebookを使って情報を出していく。

○会報について

稲田副会長より、No.38の発行について中村委員と後日相談する旨の報告があった。

○事業報告および計画

稲田副会長より、事業報告と計画案の説明があった。事業報告について以下が議論された。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援金支給プログラムに関して、第1回、第2回は緊急度の高い学生が主に申請。回数を重ねる毎に支援基準に達していない学生が増える。緊急性が目立つ学生は必ずおり、緊急事態宣言などに伴った家庭状況の急変なども予想されるため、予算はある程度必要。

昨年度の支給額は2021年3月までとして、決定した。今年も同じように行う場合は、同じ申請者が申請をしてくると予想。

- ・目覚ましご飯が、同窓会支援であることはチラシ等で宣伝しているが、同窓会援助によって為されていることが直接的に見え辛い。ネーミングを変更して同窓会の支援であることが分かるようにするのはどうか。

事業計画について、以下が議論された。

- ・プレミアムマンデーの4月分は既に執行済み。
- ・総会後にオンラインでの懇親会を行うことを追記。

4. 2020年度決算報告および2021年度予算

松本委員より、決算報告と予算案が説明された。決算報告に関して、以下が議論された。

○実際に入学生した学生に対する振込の実績を把握するべき。

- ・メールリストに在学中の学生も登録されていれば、督促はできる。ただし、同窓会の名簿システムの登録が入学と同時になければ、振込状況の把握ができない。若原委員より、大学卒業生連携室の滝川先生に確認する。学生数に対する振込実績に関しては、松本委員が記録する。

予算案に関して、以下が議論された。

新型コロナ対策の学生支援に関して：

- ・同窓会と大学側が同じ予算を計上して、計1000万円程度にするのが望ましい。
- ・大学が独自に行った寄付金もある。同窓会から2000万円、その他から800万円、計2800万の寄付が集まっている。800万の使途は不明。若原委員から基金室室長の滝川先生に使途の確認をする必要がある。大学の内情も同時に確認して、大学がどの程度、新型コロナ対策の学生支援に支出できるかを確認する。

- ・同窓会としては、同窓会500万円、大学500万円の計1000万円を提案（同窓会から300万円、昨年度の援助金の繰越200万円を足して計500万とする議論もあった

指導教員から学生への援助金に関する情報の提供も大切。教職員連絡会等を通じて周知すべき。

・大学側の援助金の運用方法も問題。本年度も引き続き同窓会は援助する予定であるが、昨年度と同様に運用が滞る可能性がある。

大学と一丸になって運用を考えるべき。同窓会から大学に話をする。寺島学長と直接議論する場を設ける。学生援助の金額の議論と合わせて、入学者に対する振込実績の確認のための取り組み（メールアドレスの使用など）を議論する。

戸高副会長に日程調整いただき、6/10(木)15時 16時に学長他関係者と意見交換会（オンライン）を行う

その他：

学生活動援助金は50万に変更。

同窓会懇親会援助について新しい取り組みがあった際には、従来の申請順、参加人数、一人当たりの支援額などの採択に関するルールに囚われず、その都度役員会で議論する。

オンラインの場合は、購入したものが全体に行き渡っている（対象者全員に支援がされている）ことが分かるようにする必要はあるが、2000円/一人を上限とする従来のルールをベースに新しいアイデアに関しては 都度審議する 計上額は100万円を維持。

5. 総会の日程

日時：2021年7月10日（土）にオンライン開催 15時開始、16時30分終了予定。その後はオンライン懇親会。

・海外同窓会にはTan委員から総会の日程を連絡いただく。

6. その他

特になし。